

大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程

平成30年度 学校関係者評価報告書  
(基準日 2019 年 3 月 31 日)

2019 年 10 月

## はじめに

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則に則り、学校評価（自己評価・学校関係者評価）実施に向けた体制作りを行ってまいりました。そして現在、文部科学省策定の『専修学校における学校評価ガイドライン』をもとに、学内における PDCA サイクルの確立を目指し自己評価を行っています。より充実した、教育環境と在校生・卒業生のサポート体制確立に向けさらなる努力をしていく所存でございます。

本校関係各位の皆様におかれましては、さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2019年10月  
学校法人大阪創都学園  
大阪アニメーションカレッジ専門学校  
学校長 井原 延治

### <学校関係者評価委員>

- 地域関係者 瀧川紀征 吹田商工会議所 副会頭
- 教育関係者 東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程 分室長
- 業界関係会社 三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役
- 卒業生 北原優希 アニメ声優コース 5期生(2008年度生)
- 学校関係者 井原延治 大阪アニメーションカレッジ専門学校 学校長  
西尾拓也 大阪アニメーションカレッジ専門学校 副校長  
城将敏 大阪アニメーションカレッジ専門学校 事務長

### <実施概要>

- ・評価項目についての前年度対比の解説と今後の対策
- ・評価者の方々からのご意見及び質疑応答

# 大阪アニメーションカレッジ専門学校 専門課程 2018 年度自己評価表

## I.平成 30 年度自己評価報告について

- ・学校長挨拶
- ・自己評価報告書において特筆すべき項目について個別説明(下記参照)

### 1.教育理念・目的・人材育成像

□1-3 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

アニメ・声優業界という専門分野へ就職や研修生というかたちで進路を決定していくが、一般の業者にも、イラストやデザイン等を必要とする業種、また、しゃべることを目的とした業種等を幅広く研究したい。アニメ業界以外にも、持っている知識・技術で対応することが可能なものへの進出は、学校としても大きな命題と考えている。特にイラストやデザイン関連に関しては、その成果も上がりつつある。

### 2.学校運営

□2-12 教育活動に関する情報公開が適切になされているか

WEB サイト、SNS 等を通じて、行事等の報告を行っている。全学科、全コースの授業カリキュラムを WEB サイトに公開。

情報公開ページの URL <https://www.osaka-anime.jp/data/>

### 3.教育活動

□3-18 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

実践的なワーキングシミュレーションをカリキュラムに盛り込んでいく努力を行っている。2018 年度は、南海電鉄様と産学協同により世界遺産高野山の紹介アニメーション「はじめましての高野山」を制作。

□3-21 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか

業界関係各社との講師派遣、情報のやり取りを行い、常に現場との接点を持つ努力を継続。積極的なヒアリングや話し合いを行い、それらの対応に関して意識を上げている。教育課程編成委員会を実施、年 2 回、外部関係者からの客観的な意見を頂ける工夫をしている。

### 4.学修成果

□4-30 退学率の低減が図られているか

退学低減に関しては、出席率の低下をできるだけ察知するために、各授業担当講師からの早い情報入手を心がけている。また学生は、人間関係の悪化が要因となるケースが多い。重要度が高い。その部分を担任や講師共々、「気づきの精神」をしっかり意識している。数多い精神疾患等の対応も含め、協力体制の強化を試みている。また、入学時の学費納入方法の把握やそれらの相談も、できるだけ早く話せる機会を大切にしている。

### 5.学生支援

□5-37 保護者と適切に連携しているか

保護者懇談を年間定期的に行い、学生の学習状況や進路について話し合いの場を持つことを心がけている。担任は、学生生活のいろんな場面に対応しながら保護者との連携を取るようになっている。2019 年度 1 月より学校行事の近況報告などを掲載した保護者通信を発行している。

## 6.教育環境

□6-41 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

教育的な必要性に対応すべく設備等の入替は常に検討して行っている。前年度に加え実践同様の設備、実習室を設置しメンテナンス等の不備が無いよう心がけている。2019年3月にPC実習室のパソコンを総入れ替え済み。

## 7.学生の受入れ募集

□7-45 学生募集活動は、適正に行われているか

定期的に行うオープンキャンパス(体験授業を含む説明会)等を行い、各学科の学習内容や就職情報、または納付金を含む入学手続きまでを正確に伝える努力をしている。また、保護者の方々にも十分に理解して頂く時間も設けている。

## 9.法令等の遵守

□9-54 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

授業推進やカリキュラム等を中心に、問題点となる部分の改善提案等を話し合いながら実行している。すぐに改善できることは出来るだけ早く、また期間を要するものに関しては、色々な方法を吟味しながら進めていきたい

## 10.社会貢献・地域貢献

□10-57 ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

地域の幼稚園、児童会館などへの読み聞かせ紙芝居などの慰問活動やイラストワークショップ、地域清掃などのボランティア活動などについて、趣旨・団体等を確認したうえで学生への案内を行っている。

2018年度 実績一例

- ・吹田クールアース(アジェンダ 21) ロゴマーク作成
- ・あべの天王寺 サマーキャンパスにて子供達に塗り絵を体験してもらおうワークショップ開催
- ・京阪神で実施されている「イベント」での司会ボランティア

□10-58 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

公開講座的なものとしては、オープンキャンパス的な捉え方で学園祭等の部外者入場が許可されるイベントにおいては、今後検討できると考えている。

## II.ご質問、ご意見

・前年度同様に本校の地域や社会への貢献度は、非常に高く評価して頂き、継続していけるよう創意工夫して欲しいとのこと。

・アニメーション業界の現場でのハラスメントなどの状況、対応はどうされているのか？

社員、タレント、クリエイターへの指導、指示、育成に関しては、丁寧な言動で対応するよう心がけているようである。

又、学内においても「スクールハラスメントに関する学校の基本姿勢と対応」を在校生や講師向けに提示。それらの「相談窓口」を設置している。